

第6次山形県教育振興計画 基本方針 主要施策体系

資料2-2

H26.09.16

基本方針	主要施策	主な取組み	目標指標（主なもの）	
I 「いのち」を大切にし、生命をつなぐ教育を推進する	1 「いのちの教育」の推進	学校、家庭、地域における「いのちの教育」の実践	○ 児童生徒の自分自身や他者との関わりに関する意識の向上	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の増加等
	2 思いやりの心と規範意識の育成	道徳教育・人権教育の充実、いじめ防止に向けた取組み推進 生徒指導・教育相談体制の充実	○ いじめ、不登校の状況改善 ○ 児童生徒の規範意識の向上	・不登校児童生徒の出現率の減少等 ・学校のきまり（規則）を守っている児童生徒の割合の増加
	3 生命の継承の大切さに関する教育の推進	次世代に生命をつなぐことの大切さを考えさせる教育、性といのちの教育 次代の親としての意識の醸成、県外進学者Uターン、地域全体での子育て支援	○ 次代の親としての意識の醸成	・乳幼児との触れ合いや交流、結婚や子育てを含めたライフデザインに関する講習会などを開催した県立学校の割合の増加
II 豊かな心と健やかな体を育成する	4 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進	社会全体で家庭教育に取り組む気運の醸成、幼児共育の推進 親の学習機会充実、家庭教育支援者育成、アウトリーチ支援、幼保小の連携	○ 家庭教育力の向上	・家庭教育講座等を実施した市町村の増加
	5 豊かな心の育成	読書活動・文化芸術活動の推進、体験活動・奉仕活動の充実	○ 児童生徒の読書に対する意識の向上	・読書が好きな児童生徒の割合の増加
	6 健やかな体の育成	健康教育の充実（肥満、アレルギー疾患、生活習慣病等）、食育の推進 体力・運動能力の向上（学校体育等の充実）	○ 児童生徒の食習慣の向上 ○ 児童生徒の体力・運動能力の向上	・毎日朝食を摂っている児童生徒の割合の増加 ・新体力テストで、「50m走」「ボール投げ」を重点種目として、全国平均以上の項目数の割合の増加
III 社会を生きぬく基盤となる確かな学力を育成する	7 個々の能力を最大限に伸ばすための環境整備と確かな学力の育成	教育山形「さんさん」プラン、教職員配置の充実 コミュニケーション能力の育成 確かな学力の育成（探究型学習の推進と評価・検証） 小・中、高校での学力向上対策の具体的取組み、理数教育の推進	○ 小・中学校における学力の向上（正答率全国トップレベル） ○ 高等学校における学力の向上	・全国学力・学習状況調査で正答率が全国平均以上となる科目数の増加等 ・難関大学、医学部医学科の合格者数の増加
IV 変化に対応し、社会で自立できる力を育成する	8 変化に対応する実践的な力の育成	グローバル化に対応した英語教育、ICT教育、環境教育の推進 高等教育機関や地域産業との連携強化、高等教育の充実 教育費の負担軽減、学習や社会生活に困難を有する者への支援	○ 生徒・教員の英語力の向上 ○ 教員のICT教育指導力の向上	・英検3級以上程度の中学生、英検準2級から2級程度以上の高校生の割合の増加等 ・英検準1級以上の英語力のある教員の割合の増加 ・授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合の増加等
	9 社会的自立に向けた勤労観・職業観の育成	学校段階に応じたキャリア教育の実践、実践プログラムの計画・実践 県内定着向上及びミスマッチ防止のための就職指導	○ 児童生徒の進路に向けた意識の向上 ○ 本県高卒者の就職率の向上	・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合の増加等 ・新規高卒者県内就職希望者の県内就職率の向上等
V 特別なニーズに対応した教育を推進する	10 特別支援教育の充実	医療・保健・福祉等と連携した就学前からの支援、教員の専門性向上 各学校段階における特別支援教育の充実、社会参加に向けた支援	○ 校内指導体制の整備	・障がいのある幼児児童生徒に対する個別の指導計画の作成率の向上
VI 魅力にあふれ、安心・元気な学校づくりを推進する	11 信頼される学校づくりの推進	子どもとじっくり向き合う学校、適性のある優れた教員の確保 信頼尊敬される教員の育成、体罰根絶、教職員の健康管理 安全安心な学校施設の整備、安全教育・防災教育の推進 学校における安全管理の充実と組織活動の体制整備	○ 教職員の健康管理の充実 ○ 安全安心な教育環境の整備	・健康診断時における要精密検査該当者の精密検査受診率の向上 ・学校管理下における事故災害で負傷する児童生徒等の減少
	12 時代の進展に対応した学校づくりの推進	県立高校の将来の在り方、特色ある学校づくり、小規模学校の在り方 柔軟な教育システムへの対応、シンクタンク機能の充実	○ 県立高校の再編整備	・県立高校再編整備基本計画の着実な推進
	13 私立学校の振興	私立学校の振興・発展に向けた私学助成、保護者の負担軽減 耐震化の促進	○ 私立学校の振興・発展に向けた私学助成	・私立学校の振興に資するための私学助成の着実な実施
VII 郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する	14 ふるさと教育の推進	地域資源を活用した体験活動、山形を学ぶ教材の発掘活用 高校教育計画への位置付け、地域を知る生涯学習の振興、県民の歌の普及	○ 社会との関わりに関する意識の向上	・地域の行事に参加している児童生徒の割合の増加
	15 山形の宝の保存活用・継承	伝統文化の保存伝承、「未来に伝える山形の宝」登録制度の推進 指定文化財の拡大と保存活用、埋蔵文化財の保護	○ 山形の宝の保存活用・継承	・「未来に伝える山形の宝」登録プロジェクトによる登録件数の増加等
VIII 学校と家庭・地域が協働し支え合う仕組みを構築する	16 学校と家庭・地域との連携・協働の推進	教育の日と教育に関する気運の醸成、山形方式の総合的な地域本部の構築 土曜日の教育環境整備、開かれた学校づくり	○ 学校と家庭・地域との連携・協働体制の構築	・学校支援地域本部等によるボランティア活動を実施している小・中学校区の割合の増加
IX 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める	17 青少年の地域力発揮	ジュニア・リーダー活動の活性化、青少年ボランティア活動 青年の地域活動の活性化とリーダー育成	○ 青年による地域活動の活性化	・地域活動に取り組む青年グループの数の増加
	18 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実	生涯学習推進体制の整備、公民館等を拠点とした学びと実践の循環 社会教育職員の育成・資質向上、社会教育施設の充実・機能強化	○ 住民等の地域社会への参加度合いの向上	・公民館等で行われている講座への参加者の増加
X 県民に元気と活力を与えるスポーツを推進する	19 生涯スポーツの推進	ライフステージに応じたスポーツ活動、子どものスポーツ機会の充実 地域のスポーツ環境の整備、県スポーツ界の好循環創出	○ 成人のスポーツ実施率の向上	・成人が週1回以上、スポーツを実施する割合の増加
	20 競技スポーツの推進	ジュニア期からの体系的な競技力向上支援、スポーツ医科学支援 全国規模の大会の開催推進、スポーツを通じた交流促進	○ 競技力の向上	・インターハイ入賞数 ・国民体育大会 天皇杯順位